

蒼い山々へ (ハンガリア民謡)

(原歌詞の訳)

探しに行こう あの蒼い山々へ
娘っ子を まあ一人や二人は
きっと俺のものになるさ

やれやれ ただ 知りたいだけなのさ
俺のあの娘の心が どうして
あんなに溶かされやすいのかがね

新しい恋人が欲しいわけじゃない
どんな女にしろ そんなもの
どうでもいいさ
俺は昔からの恋人が好きだし
向うだって俺が好きなのさ

やれやれ ただ 知りたいだけなのさ
娘っ子たちの心って どうして
あんなに溶かされやすいのかがね

(練習上の注意)

ハンガリアには多くのジプシーが漂浪するため、ハンガリア音楽すなわちジプシー音楽と思われていますが、そうではありません。東洋と西洋との接点であるハンガリアには西洋の長調、短調のほかに東洋的な民族音階があり、それらが交錯して調性の自由な変化をつくり出しているのがハンガリア民謡の特徴です。この曲もどちらかといえば東洋的な曲です。

この曲は全体に軽快に演奏します。四小節めと六小節めのグリッサンドはポイントを下しながらメル必要があります。「x」印のついた音は、掛声らしく演奏します。()の中は伴奏のところ。図aの図bの音は3開で演奏します。

この間奏の部分の運指のまにあわないときは、速度をおとしてゆっくり行い、段々に早く、正確に練習します。

霧の日に (ロシア民謡北コーカシア地方のコサックの唄)

(原歌詞の訳)

今日は霧がたちこめている
こんな悲しく憂うつな日に
野良仕事なんて できやしない
薄暗い畑で仕事をして
農具たちを悲しませるなんて できやしない

さあ 一緒においで いとしい人
歓びに溢れる緑の牧場へ
ナイチンゲールが活き活きとさえずる
歓びに溢れる緑の牧場へ

(練習上の注意)

スラブ系の音楽は、一般に急速な変化がありますが、この曲では拍子に現われています。メロディーに飛躍の多いところと、滑めらかなところがあります。飛躍のあるところは、ポイントの位置を上下に動かし、前の音がひびくようにします。